

デジタル改革の世界標準化案

現状のデジタル改革の問題点

「NECを完全に干す」発言に象徴される、発注優先で、技術内容や国民の意思が軽視されている。

1. 到達点が低い。2. マイナンバーカードの有効利用には限界がある。3. 電子書類管轄のスタッフ達が、ロシアや中国のプロ集団による恐喝や買収の手にかかれば、電子書類の漏洩がほぼ100%の確率で発生する。(深刻な電子情報の漏洩問題)

必要な人は作るし、必要のない人は作らないという理由で、アンケートでは6割の人が作らないと言っています。

マイナンバーカードを作った人のほとんどは、マイナポイントで釣られて作っており、使い道がない状態。(便利になるというTVコマーシャルは過大広告ではないか?)

ほとんどの医療機関でマイナンバーカードの保険証機能化に対応しないのは、主要な客層の高齢者は、保険証化の設定ができず、パスワードを度忘れしたり、マイナンバーカードを置き忘れたり、紛失したときの煩雑な手続きができないと考えているからと想定されます。

すなわち、マイナンバーカードまともに扱えず、窓口が混乱することを見越していると想定されます。

よって、今後もマイナンバーカードの保険証化で運用されるのはごく一部であり、簡便な保険証が運用され続けると考えられます。

注：マイナンバーカードには、顔写真が付帯しているので本人確認が間違いないと考えるのは間違いで、化粧をして明るい表情の顔と化粧をせず病気やケガで、やつれて苦しい表情の顔とでは、判別がつかないことも多く、かえって病院窓口は混乱する可能性が高くなるからです。

本来のデジタル改革とは

「デジタル改革の世界標準化案」とは、デジタル改革によって、ホワイトカラーの仕事効率が著しく向上し、また世界の誰とでもコミュニケーションが気軽に行えて、さらに各種の行政手続きが在宅で簡便になり、入出国手続きが顔パスで行われる等、世界中のより多くの人が幸せを感じることを目指しております。

<主な目標設定>

1. ホワイトカラーの仕事効率大幅UP (人事管理&勤務管理)、
2. 行政手続きを30倍UP (基本は在宅で手続きを行う、)
3. (情報漏洩問題の対策として) 電子書類の管轄スタッフと本人との共同作業でのみ、電子書類の作成・修正・削除を可能とし、本人のみがマイナンバーカードで閲覧可能とする。
4. 言語の壁を越え世界の誰とでも母国語で話し、友達になる。
5. パスポートや免許証等が不要になり、本人音声と顔動画とで入国や各種施設に入場可能とする。(顔パス社会へ)
6. スマホやPCからの電子投票を可能とし、電子集計時の不正を防止する。
7. スポーツのリモート観戦を仲間(同席感覚)と共有できる。

<デジタル改革の世界標準化案技術的な概要>

スマートホンやPCからの自撮り顔動画が、あたかもそこに分身が行くような感覚で、各種電子仮想空間(電子職場、電子会議室、電子役場等)に、刻々と変わるパスワードの読みあげの音声と顔動画とで本人認証をして入るシステムであり、該読み上げ時の数秒の「AV情報」が電子書類にリンクするシステムです。

〇〇市役所のホームページの一部の画面

下にある回転している数字をクリックし、数字が止まったら母国語で、その数字をお読みください。

2478154

入所パスワード

声を出せない人は、筆談が可能(手入力)パスワードがOKなら顔動画のアイコンが待合室に移動する。

入所記録 & 「顔動画・音声」リンクでハンコ代替

〇〇市役所

母国語で下記のパスワードをお読みください

2478154AB

入所パスワード

母国語でご用件をお伝えください

I want to make residents' tickets

名前をお伝えください

I came to renew my license.

Please go to the police station.

管轄外の場合

名前をいうと、待合室に顔動画を表示する。

順番待ち表示も可能

役所の待合室風景

役所の面談風景

役所スタッフが本人のアイコンを移動すると面談風景ができる。

A エリア

D エリア(プライベートorサブ)

B エリア

C エリア(共通orメイン):

コピーやPDF化をせず、リンクを貼り運用する。

人は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず...

Man does not build man above man, does not build man under

母国語

相手側の言語表示

司会又は発言者が大写しとなる。

PCモニター (大きめが良い)

両言語が時系列的に記録され、各人のPCに保管される。

PC

住所入力をする
と、Aエリアは地図表示になる。

(電子) 住民票

基本的には、口頭での自動入力を行い、漢字が異なる場合等では、役所スタッフが修正する。外国人で住所の読み込みが困難な場合は、メモ書きの画像を表示してもらい、役所スタッフはそれをプライベートエリアにて参照しながら、共通エリアで入力する。

共同作成者として、書類の上に画像が表示される。

パスワード読み上げ時の顔動画及び音声記録へのリンクボタン

戸籍へのリンクボタン

必要に応じ自撮りカメラ(モニター装着カメラは視線がきつく負担になる。左右を含め一番素敵な角度位置を選択)

Dエリアにて、ネット検索にて、本人の管轄の電子役所に到達すると、Dエリアの画面の中心部に本人、すなわち電子訪問者顔動画アイコンが現れる。そこで、該本人が該電子役所の刻々と変わるパスワードを母国語で読み上げ、該パスワードが合致していれば、Aエリアの電子待機エリアに該電子訪問者顔動画13が移動する。

尚、このときのパスワード読み上げの音声と顔動画とが数秒間のAV情報として自動記録される。

次に、手空きの該電子役所のスタッフが該電子訪問者顔動画アイコンをクリックすると、該スタッフ、すなわち電子対応者顔動画と該電子訪問者顔動画とが面談する形で、Aエリアの電子面談室に現れる。そこではじめて、該本人と該スタッフの会話が可能となり、話し手の顔動画が大写しとなり、Bエリアに表示され、もし該本人と該スタッフとの言語が異なれば、互いの母国語と相手側の言語とが、母国語の音声変換文字列8と相手国に翻訳した文字列とが並列表示される。

該電子面談室には、面談室の電子住民票19へのリンクボタンがあり、該本人がクリックをすると、Cエリアに白紙の電子住民票19が表示される。Cエリアに置かれた電子住民票19には、基本的に該本人が書き込みをするが、(電子役所のある国の人ではない)外国人の場合には、該本人が提示した電子役所がある場所の言語でのメモ書きを、カメラ5上に提示し、該スタッフが書き込みを行う。

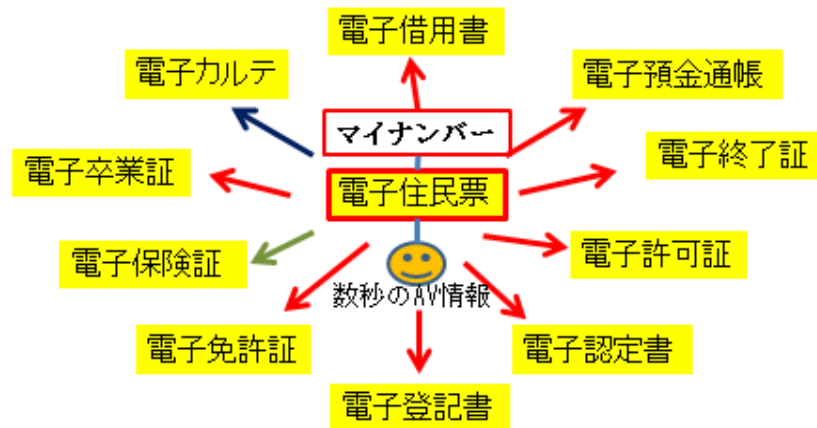
尚、住所を入力し終わると、Aエリアでは該住所付近の地図が表示され、地図上での場所の特定を該スタッフと該本人の両者にて確認することができる。

また、電子住民票の下側には、該本人の別の電子書類(例えば電子免許証)へのリンクボタンとして、電子免許証等他の電子書類へのリンクボタン16、該数秒間のAV情報へのリンクボタンとして、本人認証の数秒間のAV情報へのリンクボタン17が設定される。

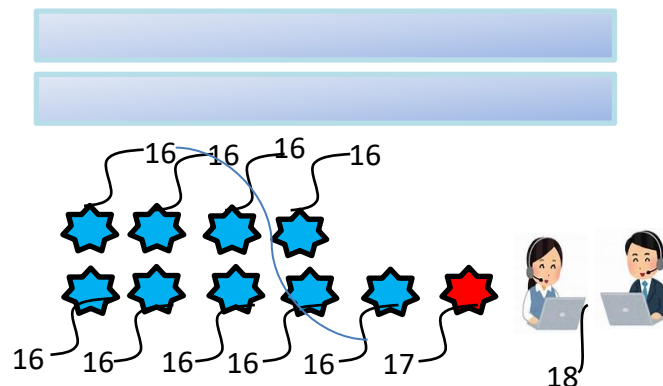
さらに、電子住民票19の共同制作者ということで、該スタッフと該本人の静止画、すなわち電子対応者 & 電子訪問者の静止画像18が該電子住民票19に貼り付けられる。

作成時の数秒のAV情報がリンクした電子住民票が基本となり、個人の各種の電子情報がリンクする形で作成される。

また、電子住民票とマイナンバーはリンクされる。



(電子住民票)



外国人の住民登録例

ハワイ出身のアグネスは19歳でモデルをしている。これから日本に数年間滞在し、種々のCMの撮影することになっている。日本人のマネージャーから渡されたマンションの住所のメモをもとに、住民登録に挑戦してみた。

ネットで最寄りの役所のHPにすぐにとどりつき、「手続きをする」(procedure)というボタンをクリックすると、なんと自分の自撮り顔動画アイコンが表示されビックリ、パスワードを英語で読み上げると、自分の顔動画が待合室に入っていくのを確認する。

間もなく、役所スタッフが私の顔動画をクリックしたらしく、待合室に通され、顔動画同士が面談する形で表示され、住民票を作りに来ましたと英語でいうと、スタッフが日本語ですぐに答えるので三度ビックリ、英語の字幕があるので、何を言っているかが分かり、自分の顔の前にマネージャーから渡された住所のメモを提示したら、役所のスタッフが私の電子住民票に打ち込んでくれて(グーグルの地図も表示された)、またハワイの住民票とのリンクを貼り、そして作成された電子住民票の下側に、スタッフと私の静止画像が貼り付けられ、結局5分くらいで電子住民票ができる。

〈かなりすましの可能性に関して〉

1. パスワード読み上げの音声と口元の合致等は非常に難しい技術です。
2. 次に万が一フェイクAV情報がコピーできたとしても、当面の損害がなく、また本人や家族にアクセス履歴が届くようになっており、本人が申告をし、フェイクが判明すると考えます。過去のアクセスAV情報が残っているので、それとの比較で、なりすましのAV情報は判別できる可能性が高いです。(そもそも、他人の電子書類を改竄しても、直接の恩恵がなく、意味がない場合が多い。)
3. 判明したら、一千万の罰金を課す。(いたづら防止になる。)

補足事項

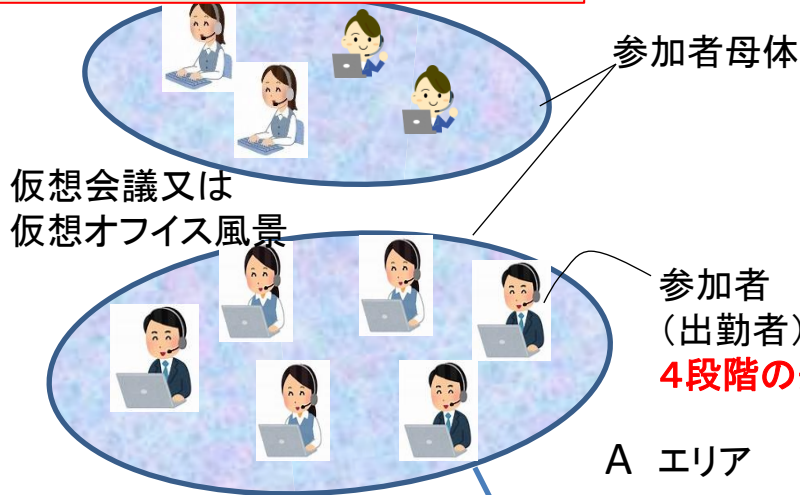
尚、他の電子書類は、役所と同様なプロセスで、それぞれの管轄の部門のHPの待合室に入り、面談室に移動し、本人がまず電子住民票を呼び出し、管轄部門のスタッフが電子住民票上に、管轄部門で管理する電子書類へのリンクボタンを作成し、該リンクボタンを本人がクリックすると、パソコンモニター右上(Dエリア)に、白紙の電子書類が表示され、次に電子住民票の作成と同様なプロセスで書類の中身が完成します。

スマートホンやPCの環境のない人は、役所に行って、スタッフの指導を受けながら、役所スタッフと共同(リアルも仮想世界も)で、電子住民票の作成を行います。

また高齢者・障害者・小さな子供の場合は、家族又は貢献人が顔を寄せて、一緒に写る形(二人並んだ顔動画となる)で行動して、電子住民票を取得します。(後見人は役所管轄内誰であれば、誰でもなれる。)

ホームレス等では、管轄の役所スタッフがPCやタブレットを持ち込み、指導しながら電子住民票を取得します。(住所はテントの場所、あるいはよく滞在している場所にします。)

電子役所に入ると同様、電子職場や電子会議室のパスワード読み上げのAV情報照合で入る。



人は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず...

Man does not build man above man, does not build man under

母国語

相手側の言語表示

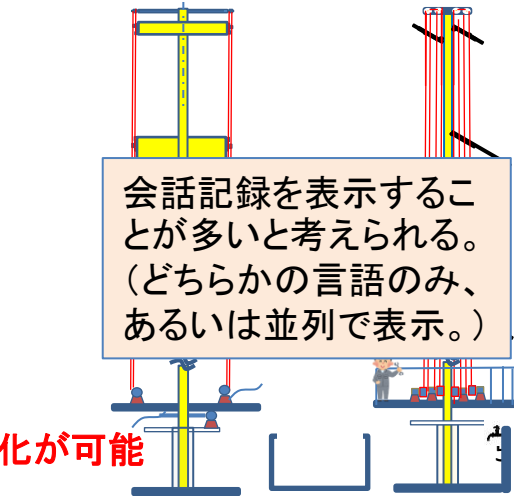
司会又は発言者が大写しとなる。

PCモニター (大きめが良い)

両言語が時系列的に記録され、各人のPCに保管される。

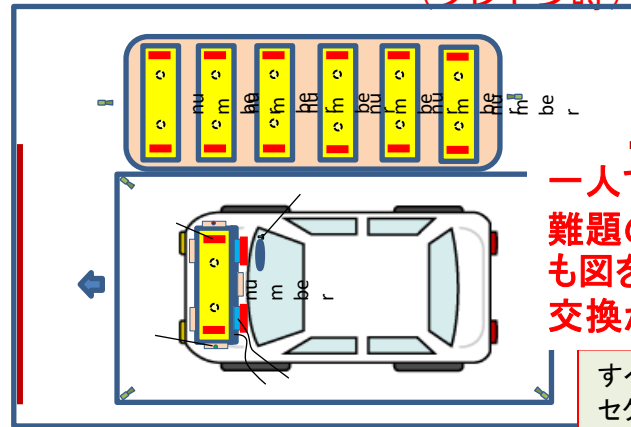


B エリア



D エリア(プライベートorサブ): 自分だけが見れる

C エリア(共通orメイン): みんなが見れる/上司が見れる (プレゼン時) / (共同作業時は)



口頭で意見交換をしながら、どちらかでも書き込める。) 一人で仕事を抱え込まない。 難題の場合には、他部門とも図を共有しOPENな意見交換ができる。

口頭で意見交換をしながら、どちらかでも書き込める。) 一人で仕事を抱え込まない。 難題の場合には、他部門とも図を共有しOPENな意見交換ができる。

すべての会話が記録されるため、セクハラ・パワハラ・いじめ等がなくなる。過労死も発生しない。

誰かのアイデア図に他の人が手書きソフトでイメージを加えたり、又消すことができる。

司会者又は発言者が動かすカーソル。

スマートフォンあるいはPCのモニター画面がABCDの4分割されているが、適宜A~D単独画面に切り替えることが可能である。

研究所や工場で働く人は、最新鋭の設備機器を使いこなす技術を磨き、会議で指示された内容に基づきアクションし、頻繁な結果報告&軌道修正を行う。

実際の仕事の推奨スタイルとしては、(ホワイトカラーの仕事の全てを在宅でリモート化することは可能だが)プライベートを共有・共感することも大切で、また家庭でのストレスを解消するために、できるだけ出社し、本システムで仕事をするのが望ましいと考えています。

また、一日二時間程度のコアタイムを除き、勤務時間をフリーとし、睡眠、遅刻・早退は問題なしにし、代わりに休日や深夜でも、アイデアが浮かんだら、仕事をしてもらいたいとする方向が望ましい。(AIが顔動画の様子から、ゆるい勤務管理を実施する。▶介護や子育てをしながらの勤務が可能になる。)

アイデア出しの時は、手書きソフトで誰かが書いたイラストに対し、手を加え、アイデアを重ね合わせることができたり、急ぎの文章作成のときは、部下がリアルタイムで書いている文章を上司が読みながら、蛍光ペンのような感じで、修正して欲しい文章を指定することができる。

従来だと、勘違いをしていたり、前提条件が間違っていたりした場合でも、書き終わってから、しかも上司に報告のアポをとり、文章を印刷してから見てもらい、あるいはメールで送付し、文章の不備の修正指示を仰いでいたので、それを何回か繰り返し、効率が悪かった。

あたかも実際に会議やオフィスに参列しているかのような気持ちになり、しかも発言者の顔の表情がよくわかるようにし、たとえ外国語であっても音声と同時に、該外国語と母国語の字幕がリアルタイムで出てきて、それを手元のパソコンモニターで確認できるようにして、聞き取りの間違いを発生させず、また母国語で話しても、正確な言葉で外国人の相手に伝えることができるようにする。

例えば、中国、米国、英国、日本での国際会議が、互いの母国語で行えるようになり、また記録が残るので、会議開催の不安(不十分な理解から、意図しない内容になることが)解消される。

また、設定によって、他人のパソコン作業中の内容を閲覧可能にし、進捗度を直接チェックすることによって、無駄な報告のやり取りを減らす。また、互いに会話をしながら、双方で書き込みが可能な共同作業を行うことができるようにする。

さらに、難題に突き当たった場合に、社内外のブレインに直接内容(図面やイラスト)をみてもらい、対面でのアドバイス等を頂くことを可能とする。

仕事の効率UPの例として 部長から、「S社からの新しい仕事の話があるけどどうする？」と問われ、Aエリアで部下たちの出勤状態を確認した課長は、「1分お待ちください。」と答え、共通エリアで部下達の仕事の進捗状況を順番にみていき、B君に依頼していた資料は、自分が修正案を出せばすぐに終了しそうだと判断し、「すぐに、お引き受けいたします。」とほぼ即答できるようになる。

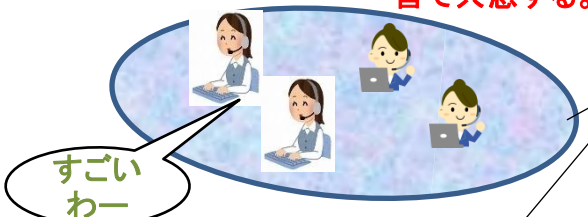
従来だと、仕事内容をメールで送ってもらい、何人かに該仕事の内容を転送し、そしていらいらしながら部下からの返答を待つが、各部下もON THE WAYの仕事を中断して資料を読むが、場合により仕事量を理解できない場合もあって、判断がどんどんと遅れ、たいがい(楽をしたいがために)「この期間ではできそうにありません、納期をもっとください。」になり、再度部長がS社と納期調整で揉めるような展開になるので、仕事効率が悪かったが、本提案では決断が早くなり、仕事効率も3倍程度にUPすると考えられる。

個人のプライベートを大切にしながらも、仕事内容の情報共有や職場内の喜怒哀楽も共有し、仕事を楽しく、効率よく行う。

各種スポーツ観戦アプリ 「AI電子会議出勤システム」

家族系

興奮のシーンを
皆で共感する。



参加者母体

一緒に観
る人を指定
できる。声を
上げると聞
こえてくる。

A エリア

B エリア

友人系



キャー

迫力ある攻防でしたが、
この失点はいたいですね。

It was a powerful play,
but I want to be on the run.

母国語 ON AIR 中の
好きな国の放送
局を選択できる。

A国応援



解説者

アナウンサー



解説者 & アナウンサーカメラ映像

他に、メールを作成したり、ビジネスのエリアとすることができ
る。(仕事やゲームをしながら、観戦)
オリンピックの全競技をリアルタイム・録
画・放送予定を含めて検索できる。

D エリア(多目的プライベート):

C エリア(共通orメイン): **放映動画**



指定選手が一番見やすいカメラ映像をAIが探してフィッシャーサイズで表示してくれる。
第一指定選手が写らないときは、第二指定選手を写す。

観客レスではあるがカメラ台数は従来よりも増やす。

世界中の人が応援者であり観客だ!



A国応援



B国応援

場内に複数のスピーカーを設置し、対戦国の応援の声を届ける(右側からA国、左側からB国等)



解説者が動かすカーソル。(スロー再生時解説等を行う。)

<スポーツ観戦アプリ:ひとつ前のページ参照>

1. リモート観戦ながら、声援を会場スピーカーで選手に届けることができる。
2. 好きな選手の追っかけ登録をすると、AIによって、複数のカメラから、フィギュアやフェイスモードの設定により、トリミング動画像が表示される。
3. あたかもスタジアム会場に来ているかのように、職場仲間やクラスメートと一緒に観戦しているような気持ちになる。次の日に会ったときの話題「〇〇選手のプレーを見た？すごかったね。」等、試合の状況のみならず、「チョコを食べながら、観戦をしてたよね。」「試合が白熱していたのに、あの欠伸はな〜に？」等の話が弾むのがいい。

<お出かけアプリ:ひとつ後のページ参照>

グーグルマップのようなマップを設定し、自撮り顔動画アイコンを該マップ上をカーソルとともに動かすと、該自撮り顔動画のアイコンから一番近い事前登録がされたカメラのライブ映像が表示され、また、該自撮り顔動画を中心として、その付近に来ている、話しかけられOKの意思を示した他人の自撮り顔動画のアイコンが表示される。

該他人の自撮り動画アイコンをクリックすれば、大写しとなり、互いに母国語で会話することが可能になる。

高齢や障害等で、自撮り顔動画をそのまま表示したくない人は、設定により、健康な状態の指定年齢の顔動画や声にAIが自動的に変換し、例えば異国同士の100歳の女性と、リアル20歳の男性とが該ライブ映像を共有しながら、会話をすることで、恋愛関係が成立する可能性もある。

尚、該ライブ映像は、短時間(3分程度以内)なら、課金がされないシステムとする。

<個人認証が必要な場合>

企業や軍隊の組織等に入るときは、監視カメラで撮影し、AIが顔で電子住民票か、電子住民票から作成された企業や軍隊で作成された個人記録票と照合(数秒間のAV情報と照合)し、入場ドアが開く仕組みです。

外国に行く場合: 入国ゲートでは、刻々と変わるパスワード読み上げと、国名及び本人の名前を口頭で言って、AIが顔と声紋とを照合し、OKならばゲートが開く仕組みです。

しゃべれない人や、口頭のパスワードや名前がうまく表示がされない場合や間違っ表示される場合には、パスワード、国名、名前をキーボードで手入力します。もし口頭での多少の間違い表示があっても、類似例検索によって、国名を特定し、その国の出国情報を加味しながら、類似例検索によって、本人が特定される可能性が高く、非常に活舌が悪く、類似検索でも国名さえ全く分からない場合を除き、手入力に移行することはないと考えています。

また、その国の入国電子登録票に、入国時の数秒のAV情報がリンクされ、CD-Rに保管されるので、免税店では、国名と名前を言うと、監視カメラがとらえた映像で、AIが前記入国時の数秒のAV情報との照合を行い、免罪の可否の判断がなされる。

以上、従来のパスポート代替となり、パスポートが不要になる他、パスポート偽造での入出国が不可能になります。(犯罪者の逃亡や犯罪者の入国が阻止される)

警察による、職務質問の場合: 警察官がタブレットを用意して、タブレットにあるパスワードを読んでもらいます。また名前を打ち込んでもらいます。音声だけでも照合できますし、顔動画だけでも照合できます。

AIの照合結果を得た上で、職質の該タブレットにて、「数秒間のAV情報」を再生し、警察官も本人も互いに間違いがないかを確認します。また、必要に応じてその人の電子住民票(さらに電子免許証)を見ることができます。

「お出かけアプリ」

カメラ位置がわかるグーグルMAP



世界レベル・老若男女での個人的な交流が加速する。
⇒国境の垣根が低くなり、世界平和&軍縮の近道。



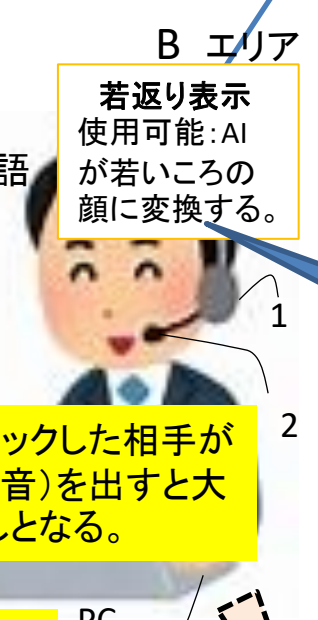
会話記録を表示することが多いと考えられる。(どちらかの言語のみ、あるいは並列で表示。)

クリックするとプロフィールが表示される。お声がけOKかどうかを明示する。(お声がけNGでは声をかけてはならない規則)

一般のPC画面と同様なイメージで仕事ができる。

日本の大阪からやってきました。この街のどこが好きで来たのですか?
母国語

I'm from Osaka, Japan.
What did you like about this town



- D エリア(プライベートorサブ): **自分だけが見れる**
- C エリア: **クリックしたカメラの映像(3分以上1円程度の課金)**
ちょい見では課金されない



相手側の言語表示

クリックした相手が声(音)を出すと大写しとなる。

PCモニター (大きめが良い)

両言語が時系列的に記録され、各人のPCに保管される。



自撮りカメラ(モニター装着カメラは視線がきつく、負担になる。左右を含め一番素敵な角度位置を選択)

＜病院での診断の簡略化・海外からの受診者の増加＞

家で、病院のHPの「受診する(consult)」ボタンを押すと、刻々と変わるパスワードが表示されるので、そのパスワードを読み上げると(合致していれば)、自撮り顔動画が待合室に入り、既に待っている人(といっても顔動画)を確認でき、また自分の待ち時間(=受診時間予測)が表示され、さらにリモート診断(結果を聞きに行くときや薬だけもらうときなど)か、実際に病院に行く必要があるかが表示される。いずれにしても、指定時間の少し余裕をみて行くか、家でパソコンの前に座ればよいので、随分と(精神的にも肉体的にも)楽になります。

病院側も、受診にくる人の人数が早くから分かり、また過去の電子カルテをあらかじめ確認しておき、予測される必要な薬や注射液などを用意しておくことができるので、(リモート受診が増え、また指定時間に来るので)待合室の縮小や薬剤スタッフなどを削減できます。

病院に受診に来る必要がある場合は、入りロゲートで刻々と変わるパスワードを読み上げると(合致していれば)病院内に入ることができ、また「○階の○●待合室に来てください」や「予測受診時間」等が表示される。いくつかの検査を受け、最後に診察を受けるときには、薬が用意されていて、医者から直接薬の飲み方や副作用の可能性等の説明を受けるので、院内薬局は縮小されるが、逆にリモート診断によって薬が処方され、もよりの調剤薬局で薬を受け取る場合が増加し、調剤薬局が拡大すると考えられます。

以上のより、本人と電子カルテとが1:1でリンクされ、受診カードが不要になり、ポリファーマシーの問題も解消され。また待ち時間が縮小されるため便利になる。海外からのリモート診断も増加し、日本の各種の病院は大いに繁盛することでしょう。

＜不正の発生しない電子投票＞

スマートホンやPCのネット検索で、もよりの電子役所のHPIに到達し、「○○の選挙の投票をする」(VOTE)をクリックすると、自分の自撮り顔動画のアイコンが表示され、また刻々と変わるパスワードが表示され、それを読み上げると(合致していれば)電子投票所の画面が現れ、自分の顔動画アイコンが電子投票所に移動します。

また、顔動画とパスワード読み上げの音声とが、「数秒のAV情報」として記録されます。

次に電子投票用紙が表示され、そこには立候補者の名簿があり、投票する人をクリックすると、他の立候補者の名簿が消え、また自分の静止顔画像の名前とが電子投票用紙に貼り付けられます。

さらに、投票が終了した該電子投票用紙は、先に記録された「数秒のAV情報」と自動でリンクが張られます。

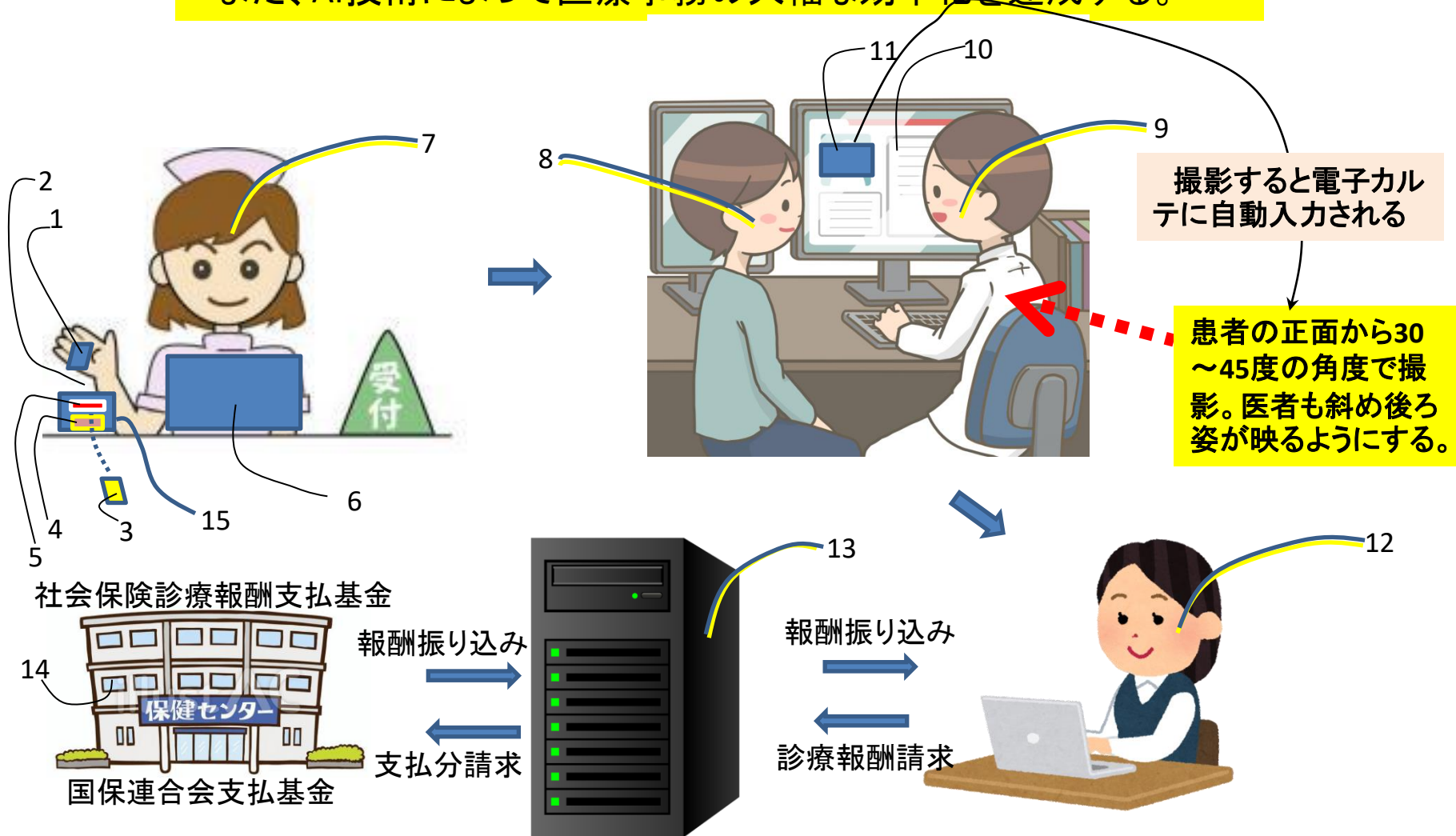
投票後の投票用紙には本人の名前と顔画像アイコンがはりついており、(アイコン)の数を、選挙区ごとで複数の人が立ち合いでカウントをすることで、イカサマは発生しないと考えています。(投票された電子投票用紙は、CD-Rに順次記録され、書き換え不可能とする。)

投票者の名簿確認(自動で作成される)を複数人の立ち合いの中で実施し、電子投票用紙アイコンの配列を「40x50」等=箱詰めイメージ、のように並べて集計すれば、紙の数を数えるより、はるかに楽で正確です。

上記アイコンの配列及び集計決結果を印刷して、それに複数の人(立ち合い人)のサインを各用紙にして、選挙管理委員会に提出すればよい。

尚、選挙した人の名簿を確認するときは投票結果がマスクされ、投票結果のデータを見る時は、印刷物も含め顔や名前にボカシ(本人が特定できないレベルで、各電子投票表紙に違う人が存在するのが分かる。)が入るようにする。

保険証のQRコード又はマイナンバーカードによって、本人の画像とカルテ等の情報が医療スタッフ側で見ることができるシステム。
また、AI技術によって医療事務の大幅な効率化を達成する。



内閣官房IT総合戦略室にて
全体のシステムを統括する。

<医療事務のAI化>

本人確認を確実に行うとともに、診療報酬の不正請求を撲滅し、さらに医療事務のAI化を行い、医療事務の効率アップを達成する。

保険証にはQRコードを付加する。病院等の医療機関では、保険証のQRコード読み取りとマイナンバーカードのリーダー&パスワード入力用のテンキー部を有する、複合機受付機を用意する。

保険証のQRコード又はマイナンバーカード&パスワードを複合受付機で読み込みことによって、マイナンバーを呼び出し、次にマイナンバーにリンクされた本人画像&カルテ等各種医療情報を呼び出すシステムを構築し、診察の度に面談中の様子を(患者の正面から、30~45度にて、医師の斜め後ろ姿も映るように)撮影し、該画像が電子カルテ上に表示され、該電子カルテがマイナンバーとリンクすることで、さらに該電子カルテが診療報酬の電子請求書と一緒に、(厚生労働省保険局の)AIサーバーに送られ、該AIサーバーは、内容に問題があれば、修正を求め、OKなら振り込みを行うシステムを構築する。

前図において、病院等の医療機関の受け付けにて、患者8がQRコード付帯保険証1を保険証&マイナンバーカード複合読み取り機15のQRコード読み取り部2で読み取るか、あるいはマイナンバーカード3を保険証&マイナンバーカード複合読み取り機15のマイナンバーカード差し込み口5に差し込み、パスワード入力テンキー部4にて、パスワードを打ち込むことで、該患者8のマイナンバーに到達し、該マイナンバーにリンクされた該患者の前回の診察時のカルテ上の該患者8本人の画像が、受け付け担当者7の操作する受付用PC6のモニターに呼びだされ、目の前にいる該患者8本人とを照合し、QRコード付帯保険証1が本人(該患者8)のものに相違がないことを確認する。

次に、該患者8と医師9とが向き合う形で、診察のための面談をしている風景を看護師又は医療事務担当者12が、スマートホンあるいはデジカメで、患者の正面から30~45度の角度で撮影し、医師9も斜め後ろ姿が映るようにし、患者中心の診察風景画像11として、自動的に電子カルテ10上の所定の場所に貼り付けられる。(既存技術)

この該患者中心の診察風景画像11が該電子カルテ10に組み込まれることによって、該電子カルテ10が架空のものではないとの確認がとれる。

医療事務担当者12は、該電子カルテ10を添えて、診療報酬の電子請求書を一件一様で作成し、厚生労働省保険局のAIサーバー13に送付し、該AIサーバー13は、該電子請求書の記載に問題がなければ、該医療事務担当者12の医療機関等の医療機関の口座に支払いをする。また、該電子請求書の記載に問題があれば、申請を却下し、修正版の再提出を求める。

尚、該AIサーバーは、社会保険診療報酬支払基金や国保連合会支払基金などの診療報酬支払基金14に対し、医療機関等の医療機関に該電子請求書に基づき支払ったお金を、同様に該電子請求書に基づき請求する。診療報酬支払基金14では、該電子請求書を精査し、問題がなければ、該AIサーバー13所有の口座にお金を振り込むが、もし問題があれば、該AIサーバー13に問題点の指摘をし、該AIサーバー13は該電子請求書を作成した医療機関等の医療機関への差し戻しを行い、修正版の提出を求める。その結果支払い超過があれば、次の診療報酬の請求額から差し引かれ、支払われる。

診察時の面談状況の撮影画像は自動的に電子カルテ上に表示されるので、ほとんど負荷が増えずに、実際に診察が行われた証拠画像付帯のカルテと診療報酬請求とがリンクされ、診療報酬の不正請求が起りにくいことに加え、診察の受付時では、前回の診察時の本人の画像がPC画面上に大写しにされ、本人確認が正確になる。

お父さんのいう通り、あなたは気持ちのやさしい子に育ったわ

スポーツはよくできたし、いつも明るく元気だった。パパはいつも癒されていたよ。

私のお墓の前で泣かないでください～私は某お寺のAIサーバーにいます。

亡くなった両親の30代の若い頃のAI復元動画

もっと勉強しろと言ってくれたらよかよったのに...

気持ちは少女時代

AIエターナルセンター

古い写真を持ち込むと、オペレーターが欲しい年代の動画をAIで再現する。音声は数多くの俳優さんの音声波形をプールしており、だれだれに近い等を聞いて、聞き比べながら波形を修正していく。

登録料3千円・月3千円程度の維持費で運営し、一時間3千円でオペレータが付き添い(高齢者ボランティア、高校生の課外授業的なアルバイトも可能とする)来訪者(家族の同意が必要)は、行き帰りで礼拝をし、故人とあたかも故人が活着しているかのような、生の会話をを行う。(一人・一時間3千円)

過去の対応内容の蓄積で、AIにより故人が進化する。子供なら、自動的に現代の年代に設定する。

靈感商法の疑いのない、すべての申告してきた宗教団体には、各市町村が礼拝堂の設置を認め、各宗教団体はAIエターナルセンターを設置し、お布施や墓・納骨堂等の収入以上が見込めるようにする。(単独対応20席、5人までのグループ対応10席等...)

しばらく、AIエターナルセンターと葬儀やお墓が併存するが、50年後では、葬儀や墓をどんどん減らし、火葬ではなく、日本海溝での水葬が良いと考えています。(海に帰る)

日本海溝水葬の概要:葬儀会社が「おもり付き棺桶」やお坊さんや神父さんを手配し、遺族や希望者で、空中鉄道で木造人工島の「国営のお別れ堂」に行き、15分程度の葬儀&水葬の儀を行い、日本海溝等の深い海に沈める。(日本全国で100箇所以上想定)